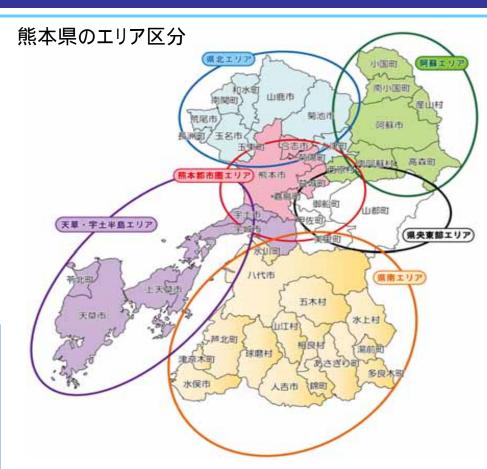
令和2年度 第2回 熊本県交通渋滞対策協議会

本会議の目的

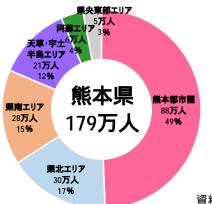
渋滞対策実施箇所の整備効果の確認(速報) 及び紹介 渋滞対策方針の共有・報告 今後の進め方の共有・報告

目 次

1.これまでの検討経緯			1
2. 今年度道路整備が完了し	た箇所の対	カスス (速報)及び紹介	3
3.熊本県の対策方針につい	て		6
4.熊本都市圏の対策方針に	ついて		1 1
5.官民連携の渋滞対策			1 9
6.今後の進め方について			2 3



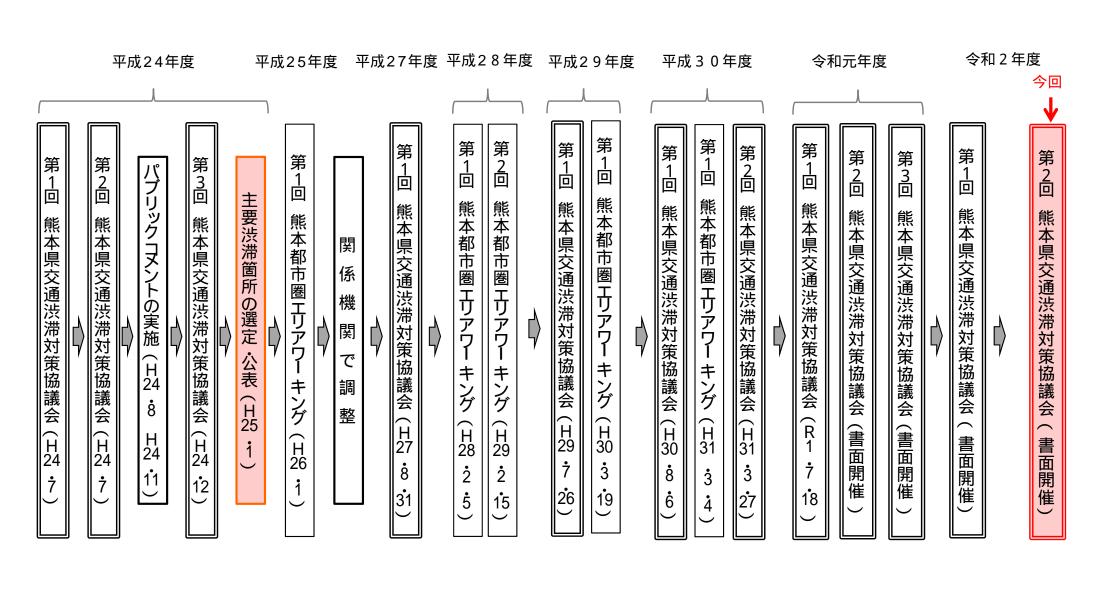
【参考】熊本県内のエリア別人口



令和3年3月

1.これまでの検討経緯

<u>(1)これまでの経緯</u>



1.これまでの検討経緯

(2)主要渋滞箇所の解除状況

○熊本県内の主要渋滞箇所は<u>平成25年1月に309箇所を選定・公表</u>され、バイパス整備及び交差点改良や周辺の交通状況変化等により渋滞が解消したため、<u>令和2年8月までに16箇所を解除</u>した

熊本県内の主要渋滞箇所

主要渋滞箇所数		集約区間数	箇所数
現状	293箇所	63区間 (222箇所)	71箇所
当初	309箇所	64区間 (226箇所)	83箇所

箇所:単独で主要渋滞箇所を形成

区間:交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、

複数の主要渋滞箇所を含む区間

主要渋滞箇所(一般道)の選定基準

曜日·時間帯	選定基準
平日 朝 (7時~9時)	平均速度20km/h未満
平日 夕 (17時~19時)	いずれか一方向でも
休日 昼 (7時~19時)	該当する箇所

主要渋滞箇所既解除箇所(16箇所)

交差点名	市町村	解除 年度
仮)菊陽町原水西	菊陽町	H29
菊陽町曲手	菊陽町	H29
仮)益城町小谷	益城町	H29
山鹿市古閑	山鹿市	H29
千丁町古閑出	八代市	H29
フードパル入口	熊本市	H30

仮)益城町小谷交差点、山鹿市古開交差点、 千丁町古開出交差点、食場交差点、 通山トンネル交差点は選定基準非該当箇所 として主要渋滞箇所から解除。

交差点名	市町 村	解除 年度
玉東町稲佐	玉東町	R1
江頭	宇城市	R1
松橋町豊福	宇城市	R1
仮)菊池市森北	菊池市	R1
崇城大学前	熊本市	R1
貢町	熊本市	R1
宿	荒尾市	R1
食場	天草市	R1
通山トンネル	天草市	R1
立花	玉名市	R2



2. 今年度道路整備が完了した箇所の効果検証(速報)及び紹介

) 国道57号北側復旧道路·国道57号現道部(R2.10)

令和2年10月3日に<u>国道57号北側復旧道路·国道57号現道部が開通</u>した

現道の復旧と共に、現道のバイパスルートとなる北側復旧ルートも開通したことにより、阿蘇方面に向かう交通容 量が拡大した

今後は現道部の7箇所の主要渋滞箇所についてモニタリングを行う

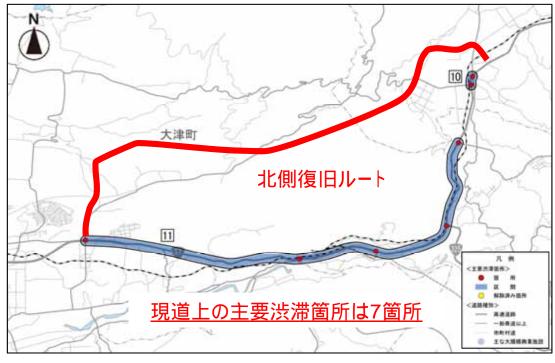
事業概要







主要渋滞箇所図



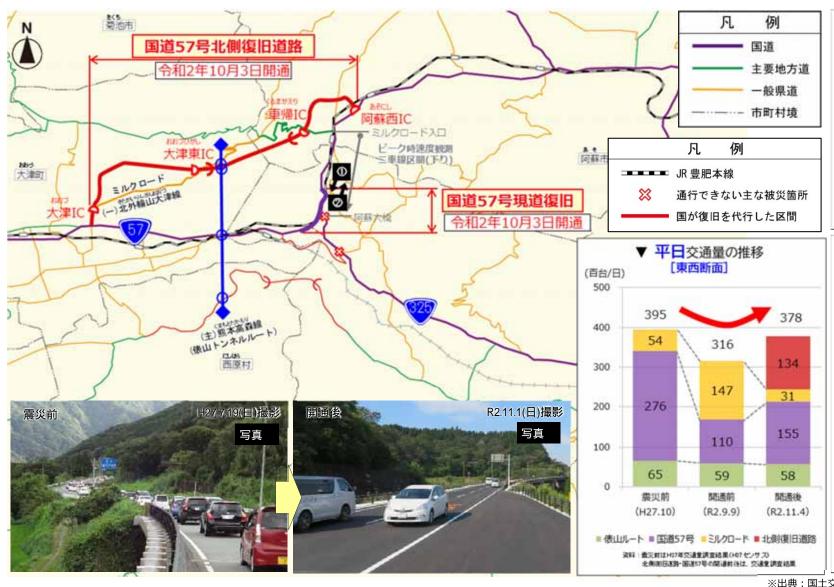
区間名		箇所名
10	一般国道57号	阿蘇町赤水交差点
10	阿蘇市赤水地区	ミルクロード入口交差点
		下野交差点
		阿蘇大橋交差点
11	一般国道 5 7 号 阿蘇郡南阿蘇村下野地区~菊池郡大津町引水地区	立野駅入口交差点
	마기께(대) 다 크기가 많으로 저기만 대가(기구의 기기가 가입으로	大津町瀬田交差点
		ミルクロード入口交差点

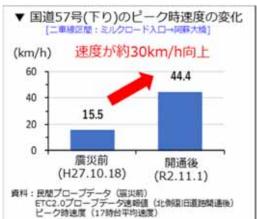
※出典:国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所記者発表資料

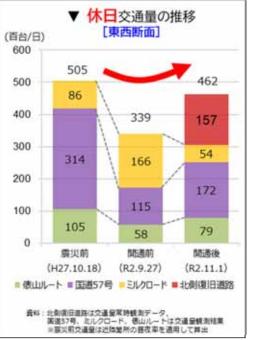
2. 今年度道路整備が完了した箇所の効果検証(速報)及び紹介

(1)国道57号北側復旧道路·国道57号現道部(R2.10)

開通後の阿蘇地域〔東西断面〕の交通量は平日·休日ともに熊本震災以前と同程度まで回復した 国道57号北側復旧道路が阿蘇方面の交通の一部を担うことで、国道57号現道部の交通量が減少し、震災前と比較し、速度の向上も確認された







2. 今年度道路整備が完了した箇所の効果検証(速報)及び紹介

(2)都市計画道路 熊本駅城山線、熊本駅南線(R3.2/R3.3)

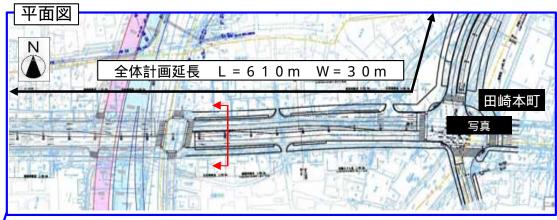
平成30年3月にJR熊本駅周辺(約6km)の高架切替えが完了(一部、事業箇所は残存)、本事業により計15箇所の踏切が撤去され、一帯の渋滞緩和を確認された

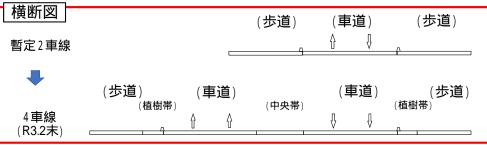
<u>令和3年2月19日に都市計画道路熊本駅城山線、3月12日に都市計画道路熊本駅南線が供用され、更なる混雑</u> <u>緩和に期待</u>できる

位置図



整備概要







(1)熊本県全体の対策の方向性

1.熊本県の概況

	概要
熊本県の状況	・熊本県は東西143km、南北127km、7405km ² の面積のうち、可住面積は37%であり、主として海岸沿いの国道3号沿線に県都・商都である熊本市、また玉名市、八代市、水俣市、人吉市などの中規模都市が連なる構造となっている。・流動方向は、国道3号や九州縦貫自動車道などの南北方向の他、国道57号、国道218号を軸とした東西方向に県を越える広域流動がある。また、熊本市から荒尾市方面への国道501号や天草方面への国道57号などの流動がある。・現在整備中の南九州西回り自動車道、九州横断自動車道延岡線等を活かした、さらなる交流圏域の拡大が期待されている。
道路 交通 状況	・県民活動に著しい影響を与えている道路交通渋滞は、朝夕のピーク時や行楽シーズンの交通集中により、県内各所で発生している。 ・主要渋滞箇所は、熊本市、天草市、宇城市等に集中しており、特に熊本市は 178箇所と全体の約6割が集中する。

2 . 方向性

, , , ,	
	概要
総合 対策等	・マイカーによる通勤、通学の公共交通・自転車へのシフト促進策は、 地球温暖化対策としての自動車からの二酸化炭素排出抑制とも合致 しており、こうした取組みにより、ソフト対策としての交通渋滞軽減を進 める。
道路 整備	・道路交通の円滑化を図るため、バイパスや環状道路の整備による ネットワークの充実や現道拡幅、交差点改良などのボトルネック(円滑 な流動を妨げる隘路となる部分)対策を計画的に進める。

3.熊本県全体の交通流動



基本方針

バイパスや環状道路等の整備による交通容量の拡大を図るとともに、<u>ソフト対策による渋滞軽減への取組みを図り更なる対</u> 策検討及び対策効果を検証してまいります。

主要渋滞箇所全体の約6割が集中している熊本市周辺においては、道路管理者・県警・交通事業者等で構成する熊本都市圏 エリアWGを活用し、主要渋滞箇所図等により、地域課題を共有し議論を進めます。

他の地域の渋滞エリアでは、関係者ヒアリング等を実施し、必要に応じてエリアWGを設置し、交通課題について議論を進めます。

(2)熊本県内における事業中の道路整備と主要渋滞箇所の対策実施状況

熊本県内では、<u>熊本天草幹線道路や熊本北バイパス、熊本西環状道路等の道路事業を進めており、今年度においては、中九州横断道路(合志~熊本)や九州中央自動車(蘇陽五ヶ瀬道路)が新たに事業化された</u>上記のような大規模道路事業の他にも交差点改良や連続立体交差事業、ソフト対策等が進められており、<u>選定時より16箇所を主要渋滞箇所から解除</u>、また<u>残存する主要渋滞箇所の内、約5割は対策済・対策中</u>となっている一方で、<u>残りの5割の箇所については今後もハード・ソフトの両面から対策の検討・実施が必要</u>である

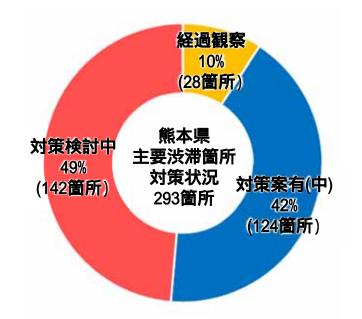
【熊本県内の主要渋滞箇所数】

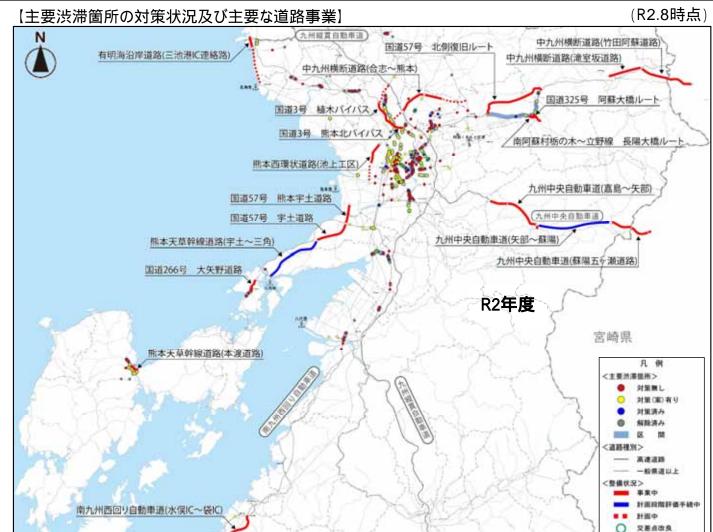
(R2.8時点)

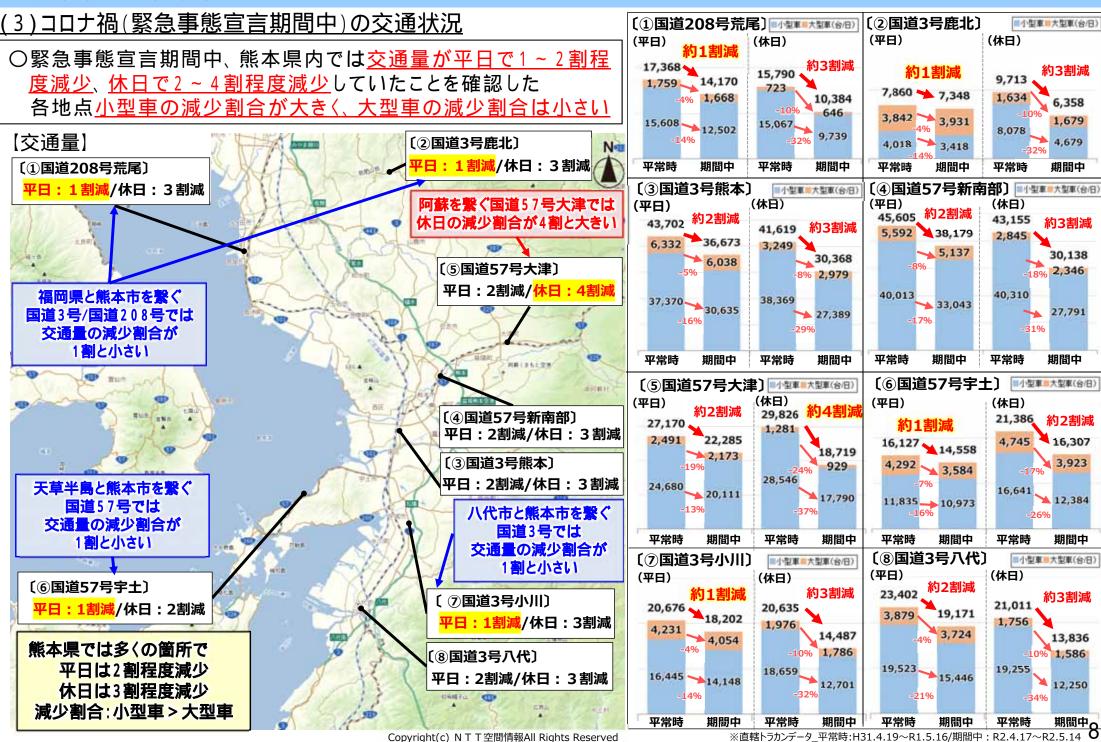
主要渋滞箇所数	
現状	293箇所 (16箇所減)
当初	309箇所

集約区間数	箇所数
63区間 (222箇所)	72箇所
64区間 (226箇所)	83箇所

【残存する主要渋滞箇所の対策状況】 (R2.8時点)





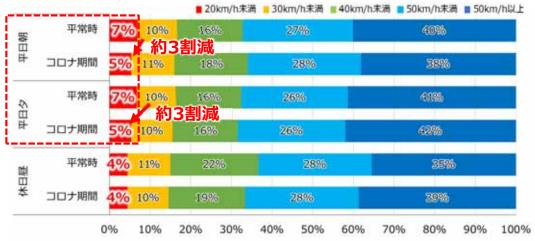


(3)コロナ禍(緊急事態宣言期間中)の交通状況

○緊急事態宣言期間中、熊本県内では交通量の減少に伴い、<u>平日朝ピーク時の20km/h未満の区間が約3割減少</u>したことを確認した。<u>特に渋滞の著しい熊本都市圏では約4割と減少の程度が大きい</u>ことを確認した

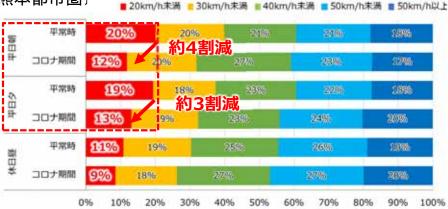
【熊本県内の速度低下発生状況】※速度毎の延長シェア

〔熊本県〕



- ·速度向上:平日 > 休日
- ·期間中は20km/h未満の割合が約3割減少

〔熊本都市圏〕



- ·平日ピーク時において約2割が20km/h未満
- ·期間中は20km/h未満の割合が約4割減少

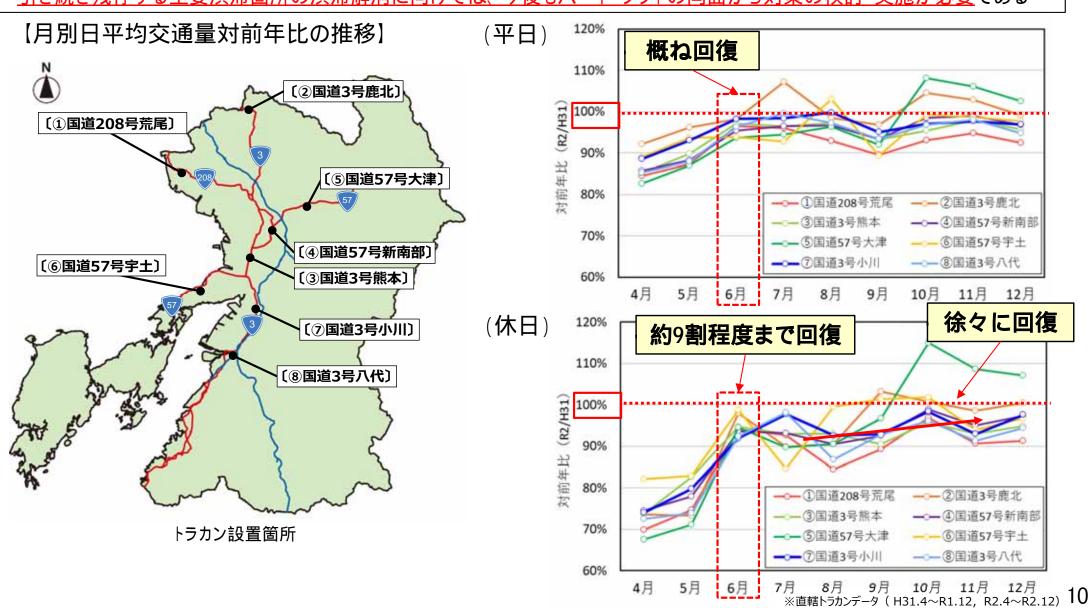
・期間中においても大きな速度向上は見られない

4)コロナ禍(緊急事態宣言以降)の交通状況と今後の対策方針

令和2年4月から現在に至るまでの県内の代表地点の交通量のモニタリングを実施した

<u>平日においては6月頃には概ね前年度並みまで回復、休日においては6月頃に前年度の約9割程度まで回復、その後、徐々に前年度並みまで回復した</u>

引き続き残存する主要渋滞箇所の渋滞解消に向けては、今後もハード・ソフトの両面から対策の検討・実施が必要である



<u>(1)熊本都市圏エリアの対策の方向性</u>

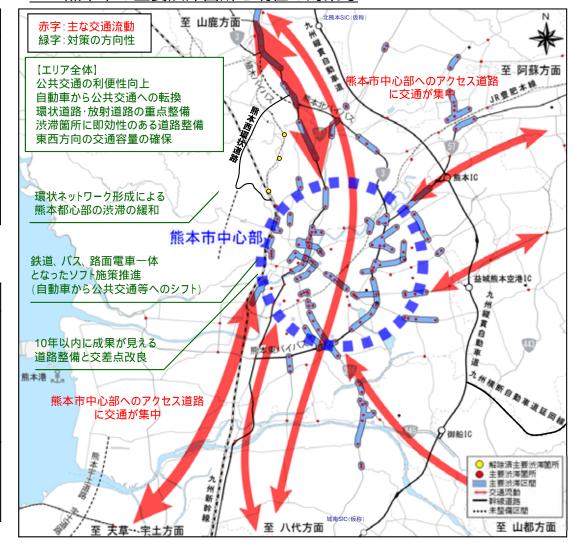
<u>1.熊本市の概況</u>

	概要
市街地の状況	・熊本市街地は、県都・商都として都市機能が集積している。 ・南北軸を形成する九州縦貫自動車道、国道3号、JR鹿児島本線をはじめ、南 北方向に交通網が発達。また、都心部では路面電車が整備されており沿線 部を中心に市街地が形成されている。 ・現在整備中の九州横断道延岡線等を活かしたさらなる交流圏域の拡大が期 待されている。
道路 交通 状況	・熊本市都心部の街路をはじめ、都心を縦貫する国道3号、市街地の東側外郭を環状型形成する国道57号に速度サービスの低下や渋滞が発生している。 ・都心部を中心に、放射道路となる国道266号や県道熊本益城大津線等は、周辺部から都心部へのアクセス道路となっており交通が集中している。

2 . 現在の対策等

<u> </u>		
	概要	
総合 対策等	・既存の公共交通の結節点強化、公共交通サービス改善、P&R等の機能強化を図り、公共交通の利便性の向上と自動車からの利用転換を目指す。・道路整備にあたっては、ITS技術の活用等により、自動車交通の円滑化を図る。・自転車を気軽に利用できる環境整備を目指す。・熊本北バイパス、熊本西環状道路等の2環状11放射道路の重点整備をはじめ、都市圏各所で発生する渋滞箇所に対する即効性のある道路整備や交差点改良等の対策を実施する。・熊本市から阿蘇・熊本空港方面の東西方向の交通容量を確保する為の対策を進める。	
道路 整備	・2環状(南北軸)11放射道路(都心アクセス軸)の重点整備等 ・熊本西環状道路、国道3号 熊本北バイパス、植木バイパスの整備 ・概ね10年以内に成果がみえる道路整備(街路)((都)池田町花園線、(都)上 熊本弓削線等)	

3.熊本市の主要渋滞箇所と現在の対策等



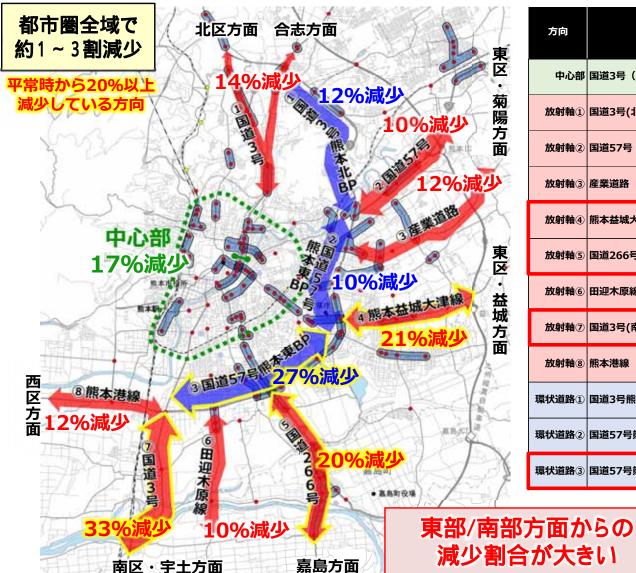
基本方針

熊本北バイパス、植木バイパス、熊本西環状道路の2環状11放射道路等の整備を進めるとともに、公共交通の利便性の向上等を図りつつ、熊本都市圏エリアWGにおいて対策検討や対策効果を検証してまいります。 なお対策内容は、今後策定予定の新広域道路交通計画を踏まえて検討してまいります。

(2)コロナ禍(緊急事態宣言期間中)の交通状況

- ○緊急事態宣言期間中、熊本都市圏において<u>前年度同期間と比較し、各地点で約1~3割のピーク時の交通量が減</u> 少していたことを確認した
- 〇特に、<u>都市圏の東部及び南部の交通量の減少割合が大きい</u>ことを確認した

【ピーク時の断面交通量の変化状況】



			平日ピーク時平均交通量(台/時)				
方向	路線名	方面	平常時	緊急事態宣言 期間中	減少台数	変化割合	
中心部	国道3号(水道町)	-	2,395	1,997	399	-17%	
放射軸①	国道3号(北部)	植木方面	1,923	1,646	277	-14%	
放射軸②	国道57号	菊陽方面	2,868	2,589	279	-10%	
放射軸③	産業道路	菊陽方面	1,781	1,563	218	-12%	
放射軸④	熊本益城大津線	益城方面	2,057	1,629	429	-21%	
放射軸⑤	国道266号	嘉島方面	2,149	1,726	422	-20%	
放射軸⑥	田迎木原線	城南方面	1,856	1,677	179	-10%	
放射軸⑦	国道3号(南部)	宇都方面	2,635	1,752	883	-33%	
放射軸⑧	熊本港線	熊本港方面	1,560	1,369	191	-12%	
環状道路①	国道3号熊本北バイパス	-	2,404	2,119	286	-12%	
環状道路②	国道57号熊本東バイパス(上水前寺)	-	3,206	2,900	306	-10%	
環状道路③	国道57号熊本東バイパス(田井島)	-	2,771	2,026	745	-27%	

データ: JARITC公表データ(トラカンデータ)/直轄トラカンデータ

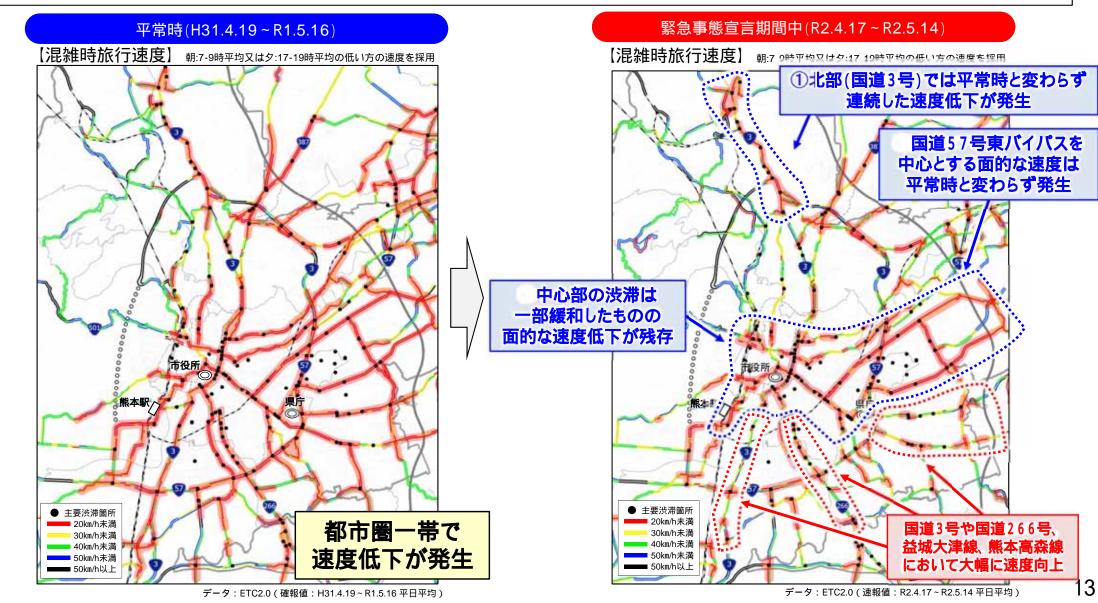
平日ピーク時平均:7時/8時/17時/19時の4時間平均

平常時: H31.4.19~R1.5.16

緊急事態宣言期間中: R2.4.17~R2.5.14

(2)コロナ禍(緊急事態宣言期間中)の交通状況

○緊急事態宣言期間中、熊本都市圏においては、<u>都市圏一帯に広がっていた速度低下が大き〈改善</u>していた特に<u>南部の国道3号や国道266号、熊本高森線といった放射路線において大幅な速度向上を確認</u>した一方で、<u>都市圏北部の国道3号や 都市圏東部の国道57号熊本東バイパス周辺、 中心市街地部における速度低下の状況については平常時と比較し、大きな変化は見られなかった</u>



(2)コロナ禍(緊急事態宣言期間中)の交通状況

朝:7-9時平均又は夕:17-19時平均の低い方の速度を採用

○緊急事態宣言期間中においても渋滞が残存していた箇所の道路の使われ方の変化を分析した <u>市内中心部(国道3号水道町)では、郊外部からの中心部発着交通の流入割合が減少</u>していた <u>市内の基幹道路(熊本東BP上水前寺)では、使われ方に大きな変化はなく、市内発着交通の利用が多かった</u>

①市内中心部(国道3号水道町)に流入する交通の内訳 緊急事態宣言期間中(R2.4.17~R2.5.14) 中心部 (中央区) 【混雑時旅行速度】 诵過交诵 発着交通 诵常時 20% 80% (N=1.546)発着交通 诵過交诵 期間中 30% 70% (N=2,827)渋滞残存箇所① (国道3号水道町付近) 20% 40% 60% 80% 100% 郊外部からの中心部発着交通の流入割合が減少 ②市内の基幹道路(国道57熊本東BP上水前寺)を利用する交通の内訳 その他の交通 市内発着交通 诵常時 35% 65% (N = 2,471)その他の交通 市内発着交通 期間中 36% 64% (N=3.925)● 主要渋滞箇所 渋滞残存箇所② 30km/h未満 40km/h未満 (国道57熊本東BP上水前寺) 20% 80% 100% 50km/h未満 50km/h以上 使われ方の変化なし、市内発着交通が主な使われ方 データ: ETC2.0 (速報値: R2.4.17~R2.5.14 平日平均)

データ: ETC2.0プローブ情報(小型車/平日ピーク時)平日ピーク時: 7時/8時/17時/19時の4時間を対象 平常時: H31.4.19~R1.5.16 緊急事態宣言期間中: R2.4.17~R2.5.14

(2)コロナ禍(緊急事態宣言期間中)の交通状況

緊急事態宣言期間中(道路交通への影響)

・在宅推進/時差出勤による通勤通学目的交通の減少及び平準化・対面打ち合わせや出張自粛により業務目的交通の減少

・不要不急の外出自粛による私用目的交通の減少

【熊本都市圏に関する交通状況】

(交通量)

都市圏全域で交通量は約1~3割減少

(速度状況)

· <u>交通量の減少に伴い、都市圏では速度が向上</u>(20km/h未満の割合が約4割減少)したものの、 解消までは至らず面的な速度低下が残存

(道路の使われ方)

- ・市内中心部(国道3号水道町)では、郊外部からの中心部発着交通の流入割合が減少
- 市内の基幹道路(熊本東BP上水前寺)では、使われ方に大きな変化はなく、市内発着交通の利用が多い

【緊急事態宣言期間中の交通状況分析から得られた知見】

期間中、交通量は減少したが渋滞が残存

→現状の都市圏道路網では、抜本的な容量不足が発生

期間中、市内中心部へ向かう交通の減少

→中心部流入抑制策により、渋滞緩和が可能

期間後は交通量が回復、新しい生活様式が浸透

→新たな対策の可能性の模索が必要

<u>(3)継続的な主要渋滞箇所のモニタリングについて</u>

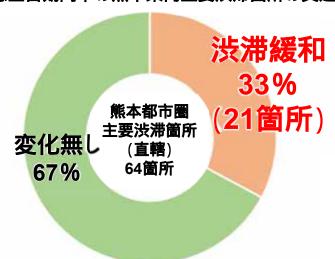
○コロナ禍(緊急事態宣言期間中)において<u>都市圏では交通量が減少し、直轄主要渋滞箇所の約3割で渋滞の緩和が確認</u>されたことから、今後はこういった緩和の見られた箇所のモニタリングが必要である引き続き<u>道路施策実施後の渋滞緩和効果の確認</u>するとともに、<u>公共交通施策等の取り組みについてもモニタリン</u>グを実施していく

緊急事態宣言期間中(道路交通への影響)

- ・在宅推進・時差出勤による通勤通学目的交通の減少及び平準化
- ・不要不急の外出自粛による私用目的交通の減少
- ・対面打ち合わせや出張自粛により業務目的交通の減少



【緊急事態宣言期間中の熊本県内主要渋滞箇所の交通状況】



【集計の考え方】

県内の直轄主要渋滞箇所に接続するセンサス対象道路以上の道路で評価

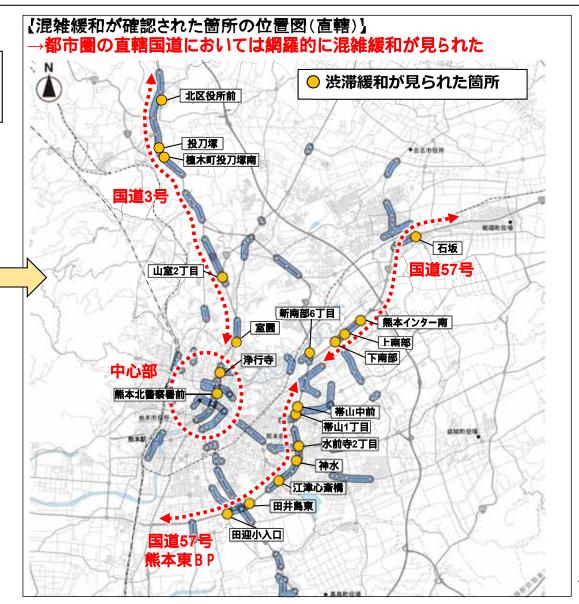
(位置づけ)

「渋滞緩和」: 1方向でも20km/h未満→20km/h以上となった箇所

「変化無し」: 上記以外の箇所

※データ: ETC2.0 平常時:H31.3.1~R2.2.29

緊急事態宣言期間中: R2.4.17~R2.5.14



<u>(3)継続的な主要渋滞箇所のモニタリングについて</u>

- ○熊本都市圏では中心部へ向かう放射軸上の交通において慢性的な交通渋滞やそれに伴うバスの遅延等の課題を 抱えている
- 〇そのため、<u>コロナ禍の渋滞緩和が特に大きかった放射軸上の3箇所を抽出し、今後モニタリングを実施</u>する

都市圏のモニタリング箇所の抽出の考え方

現在の都市圏の施策の方向性:中心部へ向かう移動時の自動車需要の抑制(自動車⇒バス等の公共交通や自転車) ⇒放射軸の交通量軽減

【緊急事態宣言期間中の熊本県内主要渋滞箇所の交通状況(前頁再掲)】



中心部へ向かう放射軸

渋滞緩和が見られた箇所

特に混雑緩和の程度が大きかった箇所

モニタリング筒所の抽出方針

放射軸上の主要渋滞箇所のうち、 特に渋滞緩和の程度が大きかった箇所を抽出

(◆・・ ◆ 上 ● の主要渋滞箇所)



モニタリング箇所

国道3号山室2丁目

国道3号室園

国道57号上南部

実際に実施する施策、実施時の交通状況にあわせて モニタリング箇所は都度、精査を行う

<u>(3)継続的な主要渋滞箇所のモニタリングについて</u>

【参考】抽出した3箇所の交通状況】

【速度状況】

主に平日朝夕ピーク時において速度が向上

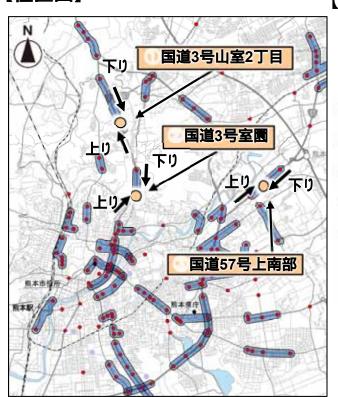
※データ: ETC2.0 平常時:H31.3.1~R2.2.29

緊急事態宣言期間中: R2.4.17~R2.5.14

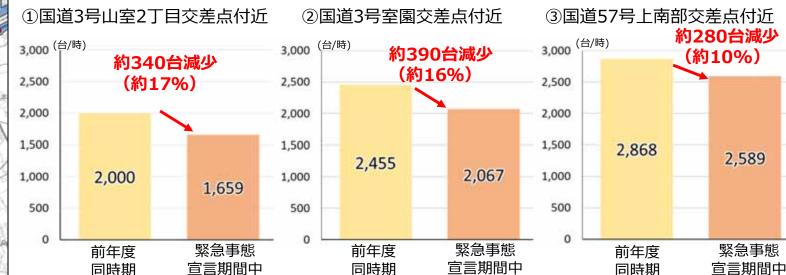
	交差点名	路線フ	方向	平常時		緊急事態宣言期間中			速度変化			
番号				平	B	休日	平	日	休日	平	日	休日
				7-8時台	17-18時台	7-18時台	7-8時台	17-18時台	7-18時台	7-8時台	17-18時台	7-18時台
1	山室2丁目	国3	上り	18.5	15.3	27.0	27.9	25.2	34.8	9.4	9.9	7.8
<u> </u>	ште ј п		下り	27.0	26.5	31.2	33.0	27.7	33.2	6.0	1.1	2.0
2	室園	国3	上り	37.8	21.6	28.2	35.2	27.7	37.4	-2.6	6.1	9.3
			下り	13.9	26.3	29.9	20.8	24.1	23.9	7.0	-2.3	-6.0
3	上南部	国57	上り	31.6	16.5	20.8	40.8	29.2	35.8	9.3	12.6	15.0
		Ĭ	下り	36.9	34.1	32.0	38.7	40.2	39.7	1.8	6.1	7.6

【位置図】

【交通量(平日朝夕ピークの断面交通量)】



約1割~2割弱程度の減少(280~390台程度の減少)



データ: JARITC公表データ(トラカンデータ)/直轄トラカンデータ 平日ピーク時平均:7時/8時/17時/19時の4時間平均 前年度同時期: H31.4.19~R1.5.16 18

緊急事態宣言期間中:R2.4.17~R2.5.14

(1)取り組みの概要

人·物の輸送の効率化を図るため、渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定したうえで、即効性のある渋滞対策を実施する

[渋滞対策の流れ]

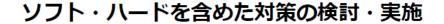
モニタリング等による検証

渋滞対策協議会における議論

- ・最新交通データによる渋滞状況検証
- ・交通状況に対する専門的見地からの検証

地域の主要渋滞箇所の 特定・見直し

利用者団体と連携 (トラックやバス、 タクシー・ハイヤー、観光協会等)



- ・地域の課題を共有することで道路管理者と 道路利用者間での議論を促進
- ・円滑な渋滞対策の立案・実施を実現



<トラックが渋滞に巻き込まれている状況>



<バスが渋滞に巻き込まれている状況>

今年度も引き続き、トラック・バス等事業者から見た渋滞箇所の対策を実施予定

(2)対策要望箇所

【トラック事業者からの対策要望箇所(令和2年10月)】

都道府県	渋 滞	箇所
熊本県	国道3号 水道町交差点付近	国道3号 藤崎宮前交差点
	国道3号 四方寄町交差点	国道3号 北部近辺
	国道3号 植木町	国道57号 旧市民病院前付近
	国道3号 西梶尾交差点~鹿子木町交差点	国道57号 県庁通り入口交差点
	国道3号 浄行寺交差点	国道57号 石坂交差点付近
	国道3号 宮原交差点付近	国道266号 千町~蓍町橋付近
	国道57号 田井島交差点付近	国道266号·国道324号 上天草市、天草市内
	国道3号 松橋八代市間	国道324号 瀬戸大橋
	国道3号 宇城市松橋町上り(竹崎~豊福)	県道14号 八代鏡宇土線
	国道3号 舞尾交差点	県道251号 八代消防署前
	国道3号 山室交差点	県道338号 高良交差点
	国道3号 新松原交差点	国道3号 大窪2丁目交差点

【バス事業者からの対策要望箇所(令和2年10月)】

	* 10 0 0 0 7 1 次 2 至 回 / (マ 4 1 2 平 1 0 7 1) / 1					
都道府県	<u> </u>					
熊本県	県道103号 八反田~保田窪付近	県道103号 新南部入口バス停 上下付近				
	県道28号 水道町~市役所付近	国道3号 浄行寺交差点~山室付近				
	県道28号 田崎橋~田崎市場付近	県道337号 浄行寺交差点~黒髪六丁目付近				
	県道337号 黒髪六丁目小磧橋付近	県道37号 薬園町交差点~室園交差点付近				
	県道231号 楠二丁目交差点(信号機2カ所)	国道266号 著町橋~杉上今付近				
	県道145号 渡鹿九丁目1-1(熊本星翔高校出入り口付近) JR踏切上下線	国道266号 田井島バス停付近				
	県道36号 佐土原BS付近	県道226号 真島橋付近				
	国道57号 西原BS付近	県道103号 江津団地入口交差点付近				
	国道3号 四方寄町信号交差点付近	国道57号 松原交差点~三角				
	国道3号 大窪二丁目交差点付近	国道266号 三角~松島付近				
	国道3号 投刀塚交差点付近	国道3号 銀座橋際交差点~中央街交差点				
	国道3号·県道28号 水道町交差点付近	国道57号·県道228号 上水前寺交差点付近				
	国道3号 杉島交差点付近	県道228号 新外入口バス停付近				
	国道3号 松原交差点付近	国道266号 八王寺交差点付近(桜町バスターミナル方面)				

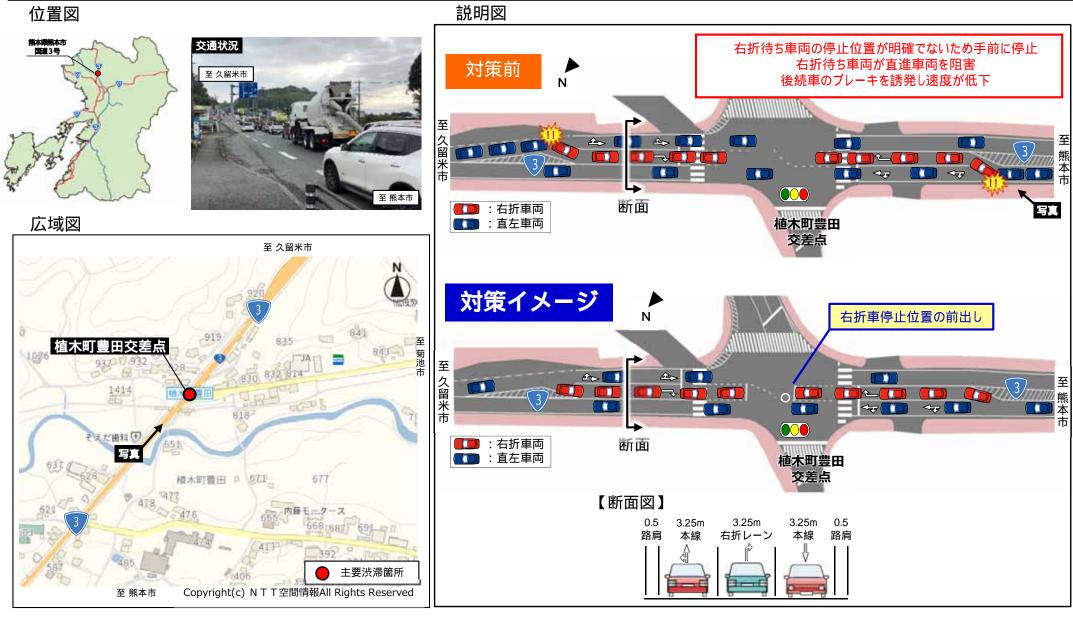
【ハイヤー・タクシー事業者からの対策要望箇所(令和2年10月)】

<u> </u>		
都道府県		渋滞箇所
熊本県	国道3号 水道町交差点付近	熊本県道28号 白山三丁目交差点付近
	国道3号 代継橋交差点付近	熊本県道103号 熊本県立大学交差点付近
	国道3号 夕葉橋付近	産業道路 本荘(地域医療センター前)~九品寺交差点付近
	国道3号 宮原交差点付近	白山通り九品寺六丁目交差点付近
	国道57号 田井島交差点付近	県道316号 弓削立体橋付近
	熊本県道14号 鏡町鏡交差点付近	

(3) 今年度対策実施箇所: 植木町豊田交差点

国道3号植木町豊田交差点は熊本市内から菊池方面へ向かう右折車が多く、右折滞留車が右折レーン内に収まり きらず本線上まで滞留し、本線車両の進行を阻害している

右折レーン延伸により、本線の車両の進行阻害を改善し、国道3号の混雑緩和に期待できる



<u>(3)来年度対策候補箇所∶河江北交差点</u>

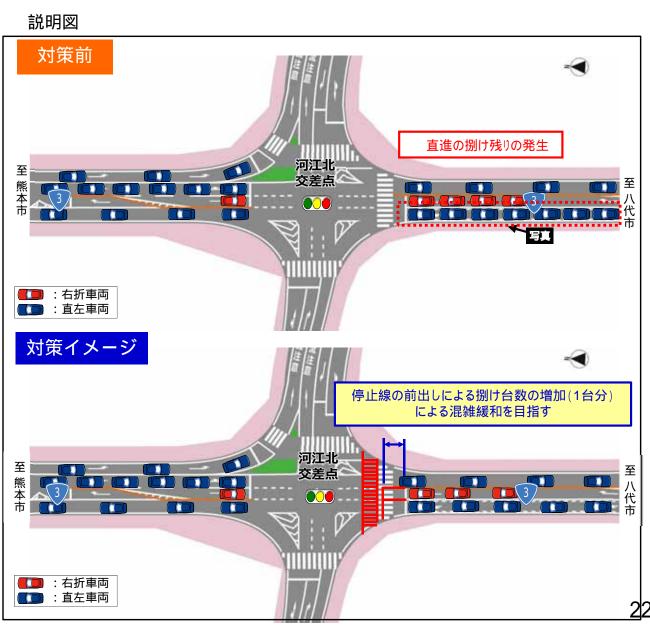
国道3号河江北交差点は八代市方面から熊本市方面へ向かう直進車が多く、渋滞が発生している 停止線の前出しにより青信号1回当たりの捌け台数を増加させることにより、国道3号の混雑緩和に期待できる



広域図



Copyright(c) N T T空間情報All Rights Reserved



6.今後の進め方について

最新の交通データを収集・整理し、主要渋滞箇所の交通状況のモニタリングを実施していく 構築した検討体制により、モニタリング結果等を有効に活用し地域毎の渋滞対策の検討を推進していく

"交通渋滞対策協議会"による議論

最新の交通データによる渋滞状況の検証

地域の交通状況の変化等に対する専門的見地からの検証 等

"エリアワーキング"による議論

交通状況のモニタリング (主要渋滞箇所のフォローアップ)

地域の交通課題の共有

ソフト・ハードを含めた具体的な対策の検討・調整 等